会員さんへインタビュー

会員さんいらっしゃ～い！ vol.4

赤陽会　会長　南原順子さん

サークル活動も活発

元気な笑顔広がる地域へ

南原さんは、長年、民生委員のお手伝いとして公団住宅の友愛訪問を行ったり、東灘区ボランティアグループ「清流」を立ち上げ、会計として活躍するなど、縁の下の力持ちとして様々な活動を通じ地域のために尽くしてこられました。

現在、赤陽会は会員121名で構成しており、サークル活動として民踊、輪投げ、カラオケ同好会、グラウンドゴルフをはじめ、令和２年には麻雀クラブも設立。会員の皆さんが好きなことを、好きな時に楽しめる場を常に提供しています。今後は新たにボッチャのサークルを設立する計画も進行中。様々なサークルを実施することで、地域の方々が見学に訪れ、入会へとつながるケースも増えています。またその他、渦が森小学校の児童たちへ昔遊びを教えたり、昔の生活を学ぶ授業の一環として、洗濯板や玄米つき、七輪で餅焼きを実際に体験し、現代の生活の尊さを理解するお手伝いも行っています。

このように、赤陽会では、誰でも楽しく参加できることを大切にし、南原会長の指導のもと、多彩な活動が展開されています。その結果、121名の会員数は自然減があるものの、口コミ等で新たな会員が入会し、長年にわたり会員数を維持することができています。

南原さんの好きな言葉は「ありがとう」。阪神・淡路大震災の経験を通じて、地域コミュニティの価値を再認識し、常に感謝の気持ちを伝えることを大切にされています。今後も誰もが住みやすい街づくりに向け、日々チャレンジし続けていきたいと笑顔で語られました。

なぎさシニアクラブ　会長　井原榮一さん

幅広い活動を楽しむ

趣味を生かして地域交流

井原会長は、前職、映画でおなじみの「東宝」作品を取り扱う宝塚映画の制作宣伝のお仕事をされていました。

定年後、老人クラブに入会したのは、独居の見守り活動の時に協議会員の方から「ぜひ、老人クラブの運営を手伝っていただきたい！」と熱いラブコールを受けたことがきっかけでした。昨年４月には、長年空白になっていた「なぎさシニアクラブ」の会長も引き継がれ、現在、会員の皆さんに楽しんでもらうため様々な活動を展開しています。

主な活動は、「絵手紙」、「パソコン」、「スマホ教室」をはじめ「ハーモニカ演奏の歌声」などの行事を開催しています。井原さんは趣味の会で「絵手紙」の講師をされるほどの腕前で、作品づくりを皆さんと楽しんでいます。また、同じ団地に住む小学生たちに楽しんでもらうため防災訓練、夏祭り、ラジオ体操、フェスティバル等も開催し、世代を越えて交流を図っています。

井原さんの健康の秘訣は「こまめに身体を動かすこと」です。日頃から炊事、洗濯、掃除などの家事全般は自分で行い、毎日歩いて買い物にも出かけています。時には春日野道方面まで足を運び、階段があれば極力、階段をのぼるなど、できることは何でも自分で行い、足腰を鍛えるように心がけていらっしゃいます。

なぎさシニアクラブでは、秋に会員旅行として但馬方面へ行くなど、魅力的な活動を計画中。今後も誰もが気軽に参加でき、楽しめるクラブを目指して頑張っていきたいと力強く語られました。

西出町菜の花クラブ 会長　大崎照美さん

挑戦する心を忘れず

友達の輪を広げる活動を

13年間もの長きにわたり西出町菜の花クラブの会長を務めている大崎さんは、地域の絆作りに尽力してきました。喫茶・カラオケなど毎月１回の行事の運営をされています。また、兵庫区老連のボウリング大会や輪投げ大会の運営を担当しています。

コロナ禍の最中には、上沼恵美子さんの「出口のないトンネルはない、その先には明かりがある」という言葉に勇気をもらったと言います。老人クラブのつながりを通じて遠くにも友達ができ、友達の輪を感じていると語る大崎さん。

地域の行事では「周りの人が助けてくれている・協力してもらっている、周りの人のお陰で成り立っている」との思いを強く抱えています。行事が終わり、「楽しかった」「ありがとう」という感謝の言葉をもらうことが、喜びであり、これからも地域のために奉仕し続ける動機となっています。「人生はリセットはできないがスタートはできる」という信念を持ち、新しいことに果敢に挑戦しています。

大崎さんの日々は活動に満ち溢れており、家にこもることなく、毎日外に出て地域のために動くことが「元気の秘訣」と語っています。

健康維持には「バランスの取れた食事」や「毎日の運動」、そして何より「良い友人を作ること」が重要だという大崎さん。人と人とのつながりの大切さが表れています。

これからも新しい行事を企画し、会員の皆さんに愛されることでしょう。

あとがき

高齢者を狙った詐欺被害は増加傾向にあり、私たち全員が警戒と予防の意識を高める必要があります。今後も広報紙を通じて、詐欺の最新の手口や対策についての情報を提供していきますので、クラブ内のコミュニティの力を発揮し、助け合い、会員同士で情報を共有しましょう。

紅葉が美しい季節がやってきました。寒さが増してきますが、皆様が温かい心と笑顔で過ごせますように願っております。

◆投稿募集

文芸欄への投稿をお待ちしています。皆さまの作品をお寄せください。

作品、住所、電話番号、単位クラブ名、お名前を必ずご記入ください。

（投稿先）
〒650－0016
神戸市中央区橘通3丁目4-1
KOBEシニアクラブ事務局
「広報紙〇〇係」
FAX 341－8524

※〇〇は（俳句・短歌・川柳・へなぶり）等

◆募集期間

締切は発行月の前々月15日必着です。
詳しくは左記の通りです。

掲載月	投稿募集期間
1月号	9月16日～11月15日
3月号	11月16日～1月15日
5月号	1月16日～3月15日
7月号	3月16日～5月15日
9月号	5月16日～7月15日
11月号	7月16日～9月15日

たくさんのご投稿をお待ちしております。